

令和元年度第7回政策会議概要

- 1 開催日時：令和元年9月9日（月）9：40～9：53
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題1 コンプライアンスの取組について

●竹尾コンプライアンス・労使協働推進監（資料1に基づき説明）

今後、より多くの職員の意見を取組に反映するため、次の2点に取り組む。

1点目は、各所属における会議等への知事の参加について、対象所属を拡大し、地域機関数か所を追加する。2点目は、職員から知事へ庁内メールにより直接意見を述べる機会を設ける。

また、9月18日の全員協議会において、不適切な事務処理及び不祥事の再発防止の取組について、上半期の取組状況を報告する。9月4日に開催したコンプライアンス懇話会において、委員から意見をいただいております、それらをふまえ、引き続き取組を進めていく。

☆河口観光局長

「今後の取組方向」にも記載されている内部統制制度の内容について、教えてほしい。

●紀平総務部長

内部統制制度については、総務省がガイドラインを出しているが、対象とする事務について、財務事務を中心にどこまで広げるかは今後検討する。制度運用にあたっては、既存のリスク管理の仕組み等を活用し、職員の過度な負担にならず、リスク管理とコンプライアンスを進められるよう実効性のある制度設計をしていきたいと考えている。制度の内容が固まり次第、情報提供させてもらう。

☆鈴木知事

現在、各所属と順番に意見交換しているが、貴重な意見を聞かせてもらっており、大変ありがたい。部局長も同席している各人事担当から、どのような内容だったかを聞いてほしい。日頃の基本動作やコミュニケーションをしっかりとすべきという意見や、一人で抱え込まないためにどうするかという意見が多い。また、起きた事案の原因究明が不十分ではないか、原因究明していたとしても伝達が不十分ではないかという指摘があった。自分事とするために、なぜそのようなことが起きたのかを理解したいという職員の気持ちはよくわかるので、原因究明と伝達の仕方を工夫しなければならない。コンプライアンス宣言を自分で書くということは、非常によかったという意見もあった。課長や班長がいろんな工夫をしている職場では建設的な意見が出てくるので、課長や班長のマネジメントは重要だと改めて思

った。このような取組は短いサイクルでPDCAを回して、改善していった方がよいと思うが、大枠は、次期行財政改革取組や人づくり基本方針の改定に盛り込んでいってほしい。

議題2 「県民の声を受けて」公表分の概要について

●福永戦略企画部長（資料2に基づき説明）

8月1日及び8月16日に県Webで公表した「県民の声」の件数は25件で、複数の所属で対応したものがあり、県の対応件数は30件となっている。

いただいた声の内容として、今回も職員に対する意見が多くなっている。

各部局長におかれては、こうした声の内容を部局内の会議で今一度共有いただき、再発防止を徹底していただくようお願いする。

（質疑等なし）

議題3 その他

●伊藤南部地域活性化局長（資料3に基づき説明）

世界遺産登録15周年記念事業として、9月29日に尾鷲市民文化会館で添付の案内チラシのとおり、「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』と磐座信仰シンポジウム」を開催するので、ぜひ、お越しいただきたい。

（質疑等なし）

以上